

乳がん高度検診・治療センター

NEW—す No.108

HER2低発現乳がんとエンハーツ®

～「HER2低発現」という新たな治療の考え方～

エンハーツ®（トラスツズマブ・デルクステカン）は、「抗体薬物複合体（ADC）」と呼ばれる抗HER2抗体に抗がん剤が結合した薬物で、従来は転移再発HER2陽性乳がん患者さんが対象でした（センターニュースNo.97,98参照）。今回、2023/4月より、このエンハーツ®が新たに「HER2低発現」の転移再発乳がん患者さんにも適応が拡大になりましたのでご紹介します！

「HER2低発現」乳がんとは？

新しい考え方なんだね！

HER2は乳がん細胞の表面に発現しているタンパクで、がんの増殖調節に関わっており、乳がん組織の免疫染色（3+、2+、1+、0）と、2+の場合はHER2遺伝子の増幅（FISH陽性、陰性）で判定を行っています。従来のHER2陽性乳がんは「免疫染色3+もしくは2+でFISH陽性」の方で、乳がん全体の約20%程度でした。

今回新たに認められた「HER2低発現」の方は、乳がん患者さんの**50%を占める**と言われており、多くの方が**新たにエンハーツ®治療の対象**となることが考えられます。

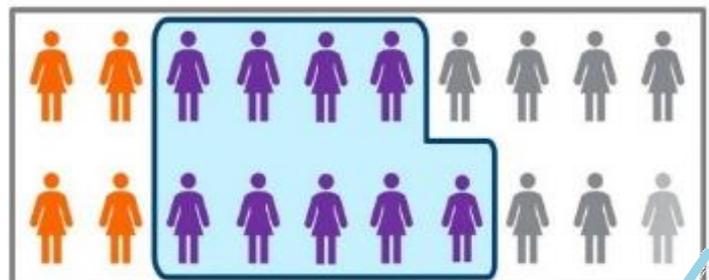
Q. 「HER2低発現」は
どのように検査をするのですか？

A. 乳がん再発患者さんで抗がん剤治療を受けたことがある方が対象です。

新たに指定されたHER2タンパクの検査で「1+もしくは2+」と判定された方は「HER2低発現」と診断され、エンハーツ®の適応となります。



HER2陽性 **NEW** HER2低発現 HER2陰性



エンハーツの適応あり

エンハーツ®について

エンハーツ®はHER2低発現の方にも、従来の抗がん剤治療と比較して高い治療効果があることが国際的な臨床試験*で確認されました。*DESTINY-Breast04：第3相試験
副作用を低減した新しいタイプのお薬(ADC)ですが、副作用が全くないわけではありません。嘔気や脱毛がみられる場合があること、特に日本人は「間質性肺炎」の発症率が高いことが知られており注意が必要です。当院では、岸和田市民病院の呼吸器内科と連携し対策を行っています。



乳腺外科
大城 智弥

なにかご質問等ありましたら、
いつでもスタッフにお尋ねください

国立貝塚病院 TEL：072-422-5865